

第28回日本医療薬学会年会報告

The 28th Annual Meeting of the Japanese Society of Pharmaceutical Health Care and Sciences

会長 千堂年昭 (岡山大学病院 薬剤部)

Toshiaki Sendo (Department of Pharmacy, Okayama University Hospital)

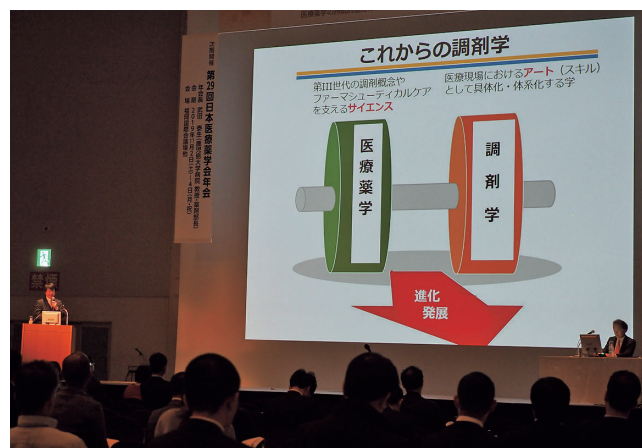
第28回日本医療薬学会年会を、平成30年11月23日（金・祝）～25日（日）の3日間、千堂年昭教授・薬剤部長を年会長に神戸国際会議場・神戸国際展示場・神戸ポートピアホテル本館（兵庫県神戸市）において開催いたしました。日本医療薬学会は、会員数が1万2千人を越える我が国有数の学術団体であり、医療系薬学の学術団体としては日本最大規模のものです。開催された3日間は天気にも恵まれ、約9,500名の参加者で熱気あふれるものとなりました。

第28回年会のテーマは「医療薬学の持続的進化のための新たなパラダイム構築～教育・臨床業務・研究～」といたしました。日本における医療の進歩は目覚ましいものがあり、医療における薬剤師の役割も大きく変革しており、以前の医薬品の供給する専門職としての立場に加え、現在ではチーム医療や病診薬連携を基にした薬物療法に関するスペシャリストとして医療現場において大きな役割を担う様になっております。本学会は薬剤師にとって情報を得る、重要な機会と認識されています。

本年会では現在、最先端の医療や研究でご活躍されている岡山大学臓器移植医療センター・大藤剛宏先生、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科薬理学分野・

西堀正洋先生ら3名の先生を特別講演に、また2名の先生を教育講演にお招きいたしました。また、近年話題となっているAI（人工知能）に関する特別企画シンポジウムも企画し、近年のニーズに即した最新のテーマを中心に開催し多くの参加者によるディスカッションが行われました。公募シンポジウムは66件を採択し、どの会場もあふれんばかりの参加者でした。一般演題は口頭発表が360題、ポスター発表は1,386題が採択され、どの会場も活発な意見が交わされていました。その他、国際シンポジウム、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科脳神経内科学・菱川望先生らによる市民公開講座が開催され多くの参加者で最終日まで盛会でした。

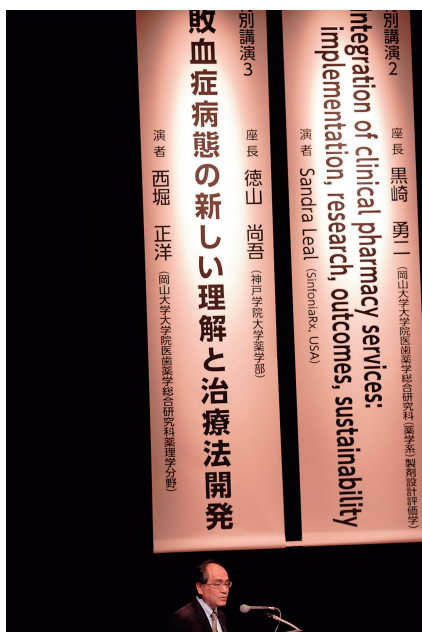
また、24日に開催された懇親会では450名を超える参加者がポートピアホテルで千堂年会長の発案によるニューヨークで活躍中のプロの演奏によるジャズに酔いしれ、神戸の食材や岡山のB級グルメに舌鼓を打ち大いに盛り上がりました。



年会長講演



大藤教授による特別講演：肺移植の革新



西堀教授による特別講演：敗血症病態の新しい理解と治療法開発



好評の市民公開講座：認知症予防体操



会場一杯の参加者



懇親会にて桃太郎登場

参加者，発表演題が過去最多となった今回の年会は，ご協力いただいた当院薬剤部員，組織委員，実行委員，協賛企業など多くの方々のおかげと感謝いたします。この場を借りましてお礼申し上げます。

(岡山大学病院 薬剤部 名和秀起 記)

平成30年12月26日受稿
〒700-8558 岡山市北区鹿田町 2-5-1
電話：086-235-7640 Fax：086-235-7794
E-mail: sendou@md.okayama-u.ac.jp